

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ココモネ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 5日		～	2025年 12月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数)	11人
○従業者評価実施期間	2025年 12月 3日		～	2025年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数)	9人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土曜日・長期休みの活動の充実に加え、子どもの定員が変更されたことで職員配置に余裕が生まれ、より手厚い支援が可能となった。	学休日や長期休暇等は、課外活動（買い物体験、公共施設の利用）や調理体験等の活動を行っている。公共の場でのマナーや社会に出た際に必要となることを身につけていけるような活動を設けている。 また、周囲の自然豊かな環境を活かし、季節を感じられる活動も取り組んでいる。	子どもたちが今後社会に出た際に身に付いていると良いことを吟味し、活動内容にさらに取り入れていく。
2	子どもたちのやりたいこと、挑戦したい気持ちを大切にしている。	一人一人のやりたい事を、一人一人のペースに合わせて経験、体験できる。	一人一人の気持ちを大切に、子どもたちの成長やニーズに応じた活動を取り入れ、寄り添いながら支援していく。
3	子どもたちが思い切り体を動かして活動できる環境。	室内、屋外ともに広さを十分に確保している。	安全に配慮しながら自然の中でのびのびと活動できるよう努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所と保護者が密に話す時間が設けられていない。保護者会や茶話会など保護者同士の交流の場を設ける。	児童発達支援と放課後等デイサービスの保護者合同での開催となっており、幅広い交流はできている。 児童発達支援のみ、放課後等デイサービスのみでの交流の場合もあれば同年齢での悩みや困りごとを共有できる。	同年代のお子さんを持つ保護者同士の交流が図れるように、児童発達支援のみ、放課後等デイサービスのみと分けて実施する。
2	けがや体調不良の場合の説明、連絡方法。	個々で活動している事も多いため、スタッフ間で怪我や体調不良時の対応について周知する。 保護者へのスムーズな連絡を行う。	体温が37.5℃以上、また普段と様子が異なる場合は保護者への連絡を迅速に行う。
3	防災訓練、緊急時対応の周知。	実施する曜日を限定してしまうことで、利用日に当てはまらない場合、訓練に参加できるメンバーが限られてしまい、曜日及び参加するメンバーに偏りが出てしまう。	避難訓練（引き渡し訓練）の週を1週間設ける等、すべての利用者に対して実施できるように日程を調整する。